

## ホットニュース Hot News

### ◎渥美図書館においでん

渥美図書館では、いつ来てもちょっと嬉しいことがある図書館となるように、「yomuyomu(よむよむ)スタンプカード」を実施しています。

スタンプをためるには、①本を借りる②おはなし会に参加する③いつでも工作が楽しめる「まいにち工作」に参加するのいずれか。

スタンプが10個たまると、図書館のキャラクターをあしらったオリジナルバッジか糟谷磯丸のまじない歌しおりをプレゼントしています。

スタンプ集めは、子どもから大人まで、どなたでも参加できます。皆さんのお越しをお待ちしています。

※おはなし会の日程は広報たはらのおでかけ情報や図書館HPをご覧ください。

※「まいにち工作」は月替わりでいろいろな工作が楽しめます。

yomuyomu(よむよむ)スタンプカード▶



### オスナの本



#### 「おひとりホテルガイド」

まる/著 朝日新聞出版

日常から離れてホテルで一息。読書したりバーで飲んだり...少しお高めの宿泊体験で、心身ともにリラックス！



#### 「本を読んだことがない32歳がはじめて本を読む」

かまど、みくのしん/著 大和書房

読書が苦手な男が本を読むWeb企画が話題となり書籍化。感受性が豊かすぎる読書体験に思わず引き込まれます。

## History Inquiry Club 眞の258 歴史探訪クラブ

文化財課(博物館) ☎22-1720  
吉胡貝塚資料館 ☎22-8060  
渥美郷土資料館 ☎33-1127

博物館HP 博物館インスタグラム



### 笑う西行法師の土人形の謎に迫る

現在、渥美郷土資料館では「ひな祭り展」、田原市博物館では「ひな人形と初凧展」が開催され、桃の節句にちなんだ展示が行われています。会場には、地域の方々から寄贈された時代ごとのひな人形や天神飾りに加え、多くの土人形が並びます。

展示中の土人形の産地は主に西三河の碧南市や高浜市、西尾市などと思われます。昭和30年ごろまでは福江港を通じて衣浦沿岸との往来が盛んだったことから、きっと三河湾を渡ってこの地にもたらされたのでしょう。

土人形の多くは、節句物や縁起物ですが、中には一風変わった存在感を持つものもあります。その一つが、西行法師の土人形です。

西行は平安時代末期の僧侶ですが、歌人でもあり、



▲土人形のひな飾り

東大寺大仏殿再建の勧進のため諸国を巡り、伊勢から渥美半島へ渡ったことも知られています。

土人形の西行は、歌人の文化人のイメージとは異なり、かなりコミカルな笑顔を浮かべています。これは、旅の中で西行が富士山を眺めたという「富士見西行」の画題に由来し、大切に風呂敷包みを背負う姿が盗難防止の象徴と結びつき、「泥棒除け」の縁起物として広まったためと考えられます。コミカルな笑顔は、縁起物となる過程で作られていったのでしょうか。

この西行の土人形も、ある家を守る存在として飾られてきたのでしょう。ふと、この土人形が見てきた家の風景に思いをはせてしまいました。



▲西行法師の土人形 (田原市博物館で展示中)

(学芸員 木村洋介)